

群馬県がん患者団体連絡協議会

ニュースレター

2010年12月1日 第23号



～主な記事～

- ◇ 群馬県がん患者ミーティング2010 開催しました！
ミーティングレポートと写真展 特集です

☆群馬県がん患者ミーティング2010 開催しました☆ (開催レポート)

去る平成22年11月27日（土）、群馬県健康づくり財団6階大会議室において、群馬県がん患者ミーティング2010を開催しました。

今回で3回目のミーティングとなりましたが、当日はよい天候に恵まれました。内容も患者会が中心となり、がん看護研究会・狩野先生司会のもと、活動報告や意見発表を行うリレートーク形式で、温かく、勇気が持てる時間でした。

バルーンアートが皆さんをお出迎えし、本田会長があいさつしました。今年度、がん連協は、群馬県議会と意見交換を行ったり、群馬県がん対策推進条例制定に向け、要望書を提出するなど、新たな交流が生まれた一年だったと会長は振り返りました。

【心と体をリラックス】を目標にいつも即席で結成される「群馬混声合唱団」。今年の指揮者はトナカイさんです。「365歩のマーチ」を元気よく合唱しました。



群馬県がん患者ミーティングレポート -その2-



いよいよレイトークが始まりました。

スタートは「1. 2の3で温泉に入る会ぐんま」の武井さんです。1. 2の3で温泉に入る会ぐんまが結成された経緯や、会員の皆さんで楽しく交流したり、温泉に入る様子が伝わりました。きっかけは、群馬の現会長が、故俵萌子さんに話されたことだったとか...感激しました。

群馬あかぎ互療会の大島さんは、この日のためにわざわざ模造紙にいろいろ書いたり貼ったりし、わかりやすくオストミーのことを説明して下さいました。紙芝居のような仕掛けに会場中、興味を持って拝見しました。

あけぼの群馬 本田会長からは、毎年取り組んでいる「母の日キャンペーン」の様子が紹介されました。こうした取り組みが少しずつがん連協のキャンペーン活動に広がっていくことを感じました。

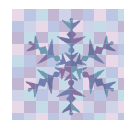
ひまわりの会は6人の大リレートークとなりました。活動報告、告知されてからの気持ちや患者会活動を通して得た仲間の大切さ。がんサロン(定例会)の報告と、今後期待することなどを熱心に伝えて下さいました。

企画委員会の篠原さんからは、この度、群馬県が制定する群馬県がん対策推進条例に対し、がん連協から提出した要望書にどのような思いが詰まっているのか、何を願うのかということ企画委員を代表して伝えて下さいました。

休憩の後は、恒例の交流茶話会です。初めて顔を合わせても不思議と心が通じ合い、話に花が咲きます。

プログラムの終わりは「見上げてごらん夜の星を」を合唱。名残惜しかったのですが、また会いましょうと約束し、解散しました。

がん関連の行事が続いたり重なったりしたせいで、参加者は49名と昨年に比べると少なくなりましたが、患者・家族、行政、医療関係者が参加して交流できる機会は貴重なものです。これからも患者会で企画・運営し、みなさんと一緒に楽しめるイベントを開催したいと考えます。





♪ミーティング写真展♪



トナカイ指揮者に合わせ、大合唱。

美声の持ち主がたくさんいらっしゃいました。

しあわせは一歩いてこないーだーから歩いていくんだねー♪

だんだんと体が温まってきます。

次回は水戸黄門のテーマもいいでしょうか???

お笑い芸人さん「もう中学生」も驚きの大島さん力作。
温かみのある作品で、学校の授業を思い出しました。
わかりやすくオストミーのことを説明して下さいました。



それぞれの発表者の方々は熱心に心をこめて原稿を作成して下さいました。

患者さんからのメッセージは、来場者の皆さんの心に届きました。

いつまでも話が尽きないのが交流茶話会。

これこそ、がんサロンの原点ではないでしょうか？



【群馬県がん患者団体連絡協議会 事務局】

〒371-0005 前橋市堀之下町16-1
(財)群馬県健康づくり財団 総務部 総務課

電話027-269-7811・FAX027-269-8928
E-mail m-araki@gunma-hf.jp

編集後記

間もなく1年が終了します。最近はやりの「断捨離」という考え方にいたく感心し、少しずつ実行しようと決意しました。職場の机もやるぞ！と引き出しを開けた瞬間、ストックしていた非常食（お菓子）がたくさん出てきてビックリ。すぐにそっと閉めました。

編集担当：事務局 荒木美保